

エコアクション21

# 環境活動レポート

令和3年2月～令和4年1月



令和4年 2月 3日

 **シンワ設備株式会社**

<http://www.shinwas.co.jp>

## ①組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名: シンワ設備株式会社 代表取締役 榛葉 秀聡
2. 所在地及び連絡先: (本 社) 静岡県浜松市東区上西町5番地1 <053>464-3211  
(営業所) 静岡県掛川市弥生町148番地 <0537>24-3322
3. 役割: (環境管理責任者) 営業部 八木和章  
(連絡担当者及び連絡先) 八木和章 kazuaki\_yagi@shinwas.co.jp
4. 事業活動内容: ・建築設備の設計及び施工  
・オール電化製品(電気温水器, エコキュート, IH)の販売と保守サービス
5. 事業の規模 ・1971年 2月 6日 創業  
・従業員数 (本社) 13人 , (営業所) 4人 (常勤役員1名除く)  
・事業所の延べ面積 (本社)753m<sup>2</sup>, (営業所)119m<sup>2</sup>

	(千円)	(件数)	
・完成工事高	(平成28年 第47期)	492,054	248
	(平成30年 第48期)	542,381	441
	(平成31年 第49期)	682,590	509
	(令和2年 第50期)	855,450	588
	(令和3年 第51期)	754,566	600

事業年度は7月1日から翌年6月30日

6. 建設業許可番号 ・静岡県知事 管 工事 (特定)29-6823号  
土木, 機械器具設置 工事 (一般)29-6823号

## ②対象範囲

組織: シンワ設備(株) 本社及び掛川営業所

活動: 建築設備業及びオール電化機器の販売・保守

### ③環境方針

#### [ 環境理念 ]

シンワ設備株式会社は、建築設備工事に関わる営業活動を通じて快適な水と空気、そして環境に配慮したシステムをお客様に提供し、地域社会から信頼される企業を目指します。

#### [ 基本方針 ]

当社は、社員が自己の職務権限と責任を自覚して、環境経営活動に積極的に参加し、自己の働きがいある職場の環境づくりと共に、社員とその家族及び社会全体の明るい未来づくりのために、自然環境を大切にして以下の項目に取り組みます。

##### 1. 環境負荷の低減

- 1) 省エネ推進によるCO2削減
- 2) 産業廃棄物の適正処理と削減
- 3) 用水使用量の削減

##### 2. 環境保全活動

建築設備の専門家として、環境に配慮した設備システムを提案します。

##### 3. 環境関連法規遵守

環境関連法規を遵守し、地域社会から信頼される企業を目指します。

##### 4. 環境経営の継続的改善誓約します。

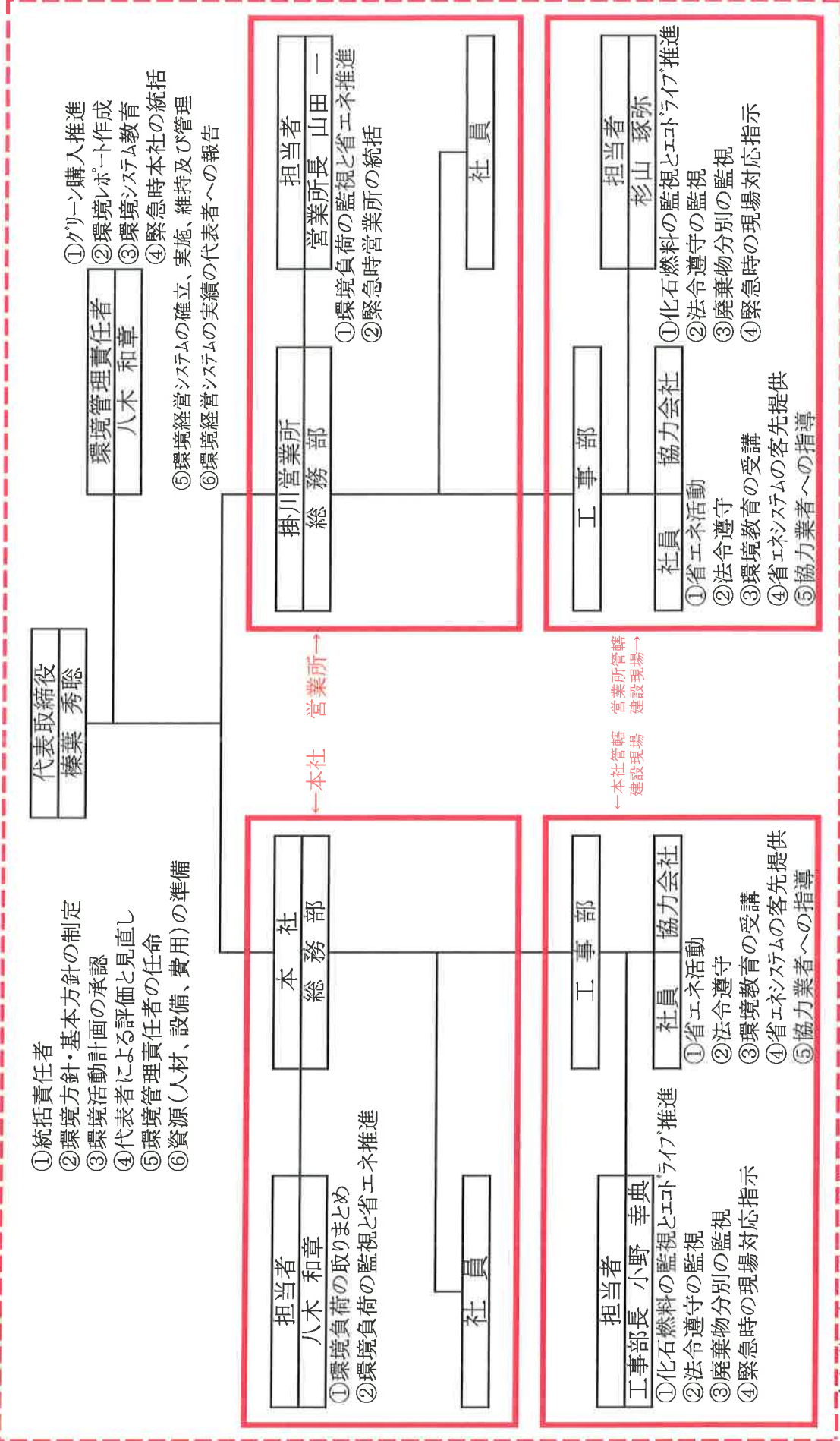
##### 5. グリーン購入を推進します。

制定日	平成26年2月6日
改定日	令和3年4月30日

シンワ設備株式会社  
代表取締役 榛葉 秀聡

・実施体制と役割

対象範囲



全組織・全活動・全従業員を対象とする。

## ④環境目標

改定 令和3年2月6日

\* 二酸化炭素排出係数は0.480を使用しました。

## 全社

項目	単位	H26年度	H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
CO2排出量	kg-CO2	79,301	-1.81%	77,866	-2%	77,715	-2%	77,715	-2%	77,715
購入電力	MJ	472,941	-3.37%	457,003	-3%	458,753	-3%	458,753	-3%	458,753
化石燃料	MJ	782,519	-1.84%	768,121	-2%	766,869	-2%	766,869	-2%	766,869
水	m3	122	-3.27%	118	-1%	121	-1%	121	-1%	121
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.314	-4.14%	0.301	-3%	0.305	-3%	0.305	-3%	0.305
産業廃棄物の資源化率	%	52	2%	54	2%	54	2%	54	3%	55
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	24						10		10
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

## 本社

項目	単位	H26年度	H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
CO2排出量	kg-CO2	63,277	-1%	62,644	-1%	62,644	-1%	62,644	-1%	62,644
購入電力	MJ	385,316	-3%	373,757	-3%	373,757	-3%	373,757	-3%	373,757
化石燃料	MJ	617,442	-1%	611,268	-1%	611,268	-1%	611,268	-1%	611,268
水	m3	77	-5%	73	-1%	76	-1%	76	-1%	76
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.260	-3%	0.252	-3%	0.252	-3%	0.252	-3%	0.252
産業廃棄物の資源化率	%	68	2%	70	2%	70	2%	70	3%	71
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	10						5		5
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

## 掛川営業所

項目	単位	H26年度	H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
CO2排出量	kg-CO2	16,024	-5%	15,223	-3%	15,543	-3%	15,543	-3%	15,543
購入電力	MJ	87,625	-5%	83,244	-3%	84,996	-3%	84,996	-3%	84,996
化石燃料	MJ	165,077	-5%	156,823	-1%	163,426	-1%	163,426	-1%	163,426
水	m3	45	-1%	45	-1%	45	-1%	45	-1%	45
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.054	-10%	0.049	-3%	0.052	-3%	0.052	-3%	0.052
産業廃棄物の資源化率	%	35	2%	37	3%	38	3%	38	3%	38
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	14						5		5
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

### ⑤環境活動計画

項目	達成手段	スケジュール	対象範囲	実施担当
電力削減によるCO2削減	①エアコン設定温度の徹底(室内温度、冷房28℃暖房20℃) ②不在の部屋はエアコンを停止する。 ③人がいないエリアの照明は点灯しない。 ④電気温水器は冬季のみ電源を投入する。 ⑤不在時は、パソコンの電源を切る。 ⑥ゴーヤによる緑のカーテンを作り、冷房時の外気負荷を低減	7～9月, 12～3月 # # 12～3月 # 7～9月	本社 営業所	八木 山内
化石燃料削減によるCO2削減	①不要なアイドリングはしない。 ②急発進、急停止はしない。 ③計画を立てて、効率の良い運転経路を選択する。 ④可能ならば相乗りで移動する。 ⑤不要な荷物は降ろして、車両をなるべく軽くする。 ⑥エアコン設定温度は適正にし、強風では使用しない。 ⑦タイヤの空気圧は適正に保つ。 ⑧遠出の際は、公共交通機関を積極的に利用する。	# # # # # # # #	本社 本社管轄現場 営業所管轄現場	八木 小野 杉山
水の削減	①水を出しっぱなしで使用しない。 ②物を洗う際は、バケツ溜洗いをする。 ③植栽の散水は、雨水再利用タンクの水を使用する。 ④定期的に漏水点検をする。	# # # 2ヶ月に1回	本社 営業所	八木 山内
廃棄物排出量(一般)	①書類のペーパーレス化を推進する。 ②不要となったコピー用紙は裏面印刷にて使用する。 ③両面印刷を多用して、コピー用紙を削減する。 ④ダンボール、新聞紙、雑誌等紙類はリサイクルする。	# # #	本社 営業所	八木 山内
廃棄物排出量(産業)	①ダンボールはリサイクルする。 ②金属類の分別とリサイクルする。 ③マニフェストによる処分委託と管理をする。	# # #	本社管轄現場 営業所管轄現場	小野 杉山
環境配慮の設備提案	①節水コマを常備し、積極的にお客様に提供する。 ②省エネシステムをお客様に積極的に提案する。 ③省エネに関するセミナーに積極的に参加する。	# # #	本社 営業所	八木 山田
グリーン購入	①備品等の新規購入はグリーン購入に努める。	# #	本社 営業所	八木 山田

改定 令和3年2月3日

⑥環境目標の実績

実施日	令和4年2月3日
実施者	八木 和章

全社

\*CO2排出係数0.480

項目	単位	平成26年度	令和2年度		令和3年度					
		基準値	目標値	実績値	削減率	目標値	実績値	実績/目標	基準年度比	達成
CO2排出量	kg-CO2	79,301	77,715	70,552	-2%	77,715	69,067	113%	115%	○
購入電力	MJ	472,941	458,753	327,988	-3%	458,753	371,918	123%	127%	○
化石燃料	MJ	782,519	766,869	800,947	-2%	766,869	758,180	101%	103%	○
水	m <sup>3</sup>	122	121	111	-1%	121	139	87%	88%	×
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.314	0.305	0.311	-3%	0.305	0.353	86%	89%	×
産業廃棄物の資源化	%	52	54	76	3%	55	80.1	146%	154%	○
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	24	10	1	-	10	14	140%	58%	○
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

\*取組結果の評価については、100%以上達成=○ 99~90%=△ 90%未満=×

本社

\*CO2排出係数0.480

項目	単位	平成26年度	令和2年度		令和3年					
		基準値	目標値	実績値	削減率	目標値	実績値	実績/目標	基準年度比	達成
CO2排出量	kg-CO2	63,277	62,644	56,805	-1%	62,644	54,870	114%	115%	○
購入電力	MJ	385,316	373,757	260,859	-3%	373,757	290,526	129%	133%	○
化石燃料	MJ	617,442	611,268	653,413	-1%	611,268	605,733	101%	102%	○
水	m <sup>3</sup>	77	76	62	-1%	76	77	99%	100%	△
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.260	0.252	0.302	-3%	0.252	0.317	80%	82%	×
産業廃棄物の資源化	%	68	70	68	3%	71	80.0	113%	118%	○
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	10	5	0	-	5	2	40%	20%	×
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

\*取組結果の評価については、100%以上達成=○ 99~90%=△ 90%未満=×

営業所

\*CO2排出係数0.480

項目	単位	平成26年度	令和2年度		令和3年					
		基準値	目標値	実績値	削減率	目標値	実績値	実績/目標	基準年度比	達成
CO2排出量	kg-CO2	16,024	15,543	13,747	-3%	15,543	14,198	109%	113%	○
購入電力	MJ	87,625	84,996	78,787	-3%	84,996	81,392	104%	108%	○
化石燃料	MJ	165,077	163,426	147,534	-1%	163,426	152,448	107%	108%	○
水	m <sup>3</sup>	45	45	62	-1%	45	62	72%	73%	×
一般廃棄物(循環資源-紙)	t	0.054	0.052	0.009	-3%	0.052	0.036	146%	150%	○
産業廃棄物の資源化	%	35	38	78	3%	38	80.4	212%	230%	○
エコキュート及び電気温水器販売台数	台	14	5	1	-	5	12	240%	86%	○
環境配慮の設備提案	お客様に省エネを推進します。									
グリーン購入	グリーン購入に努めます。									

\*取組結果の評価については、100%以上達成=○ 99~90%=△ 90%未満=×

\*全体の未達成項目

- ①水 今年度は会社常駐社員が増。漏水はない
- ②一般廃棄物 コピー用紙の使用が増加。適用できる範囲で裏紙の使用を意識させる

⑦環境活動の評価と今後の取組

対象範囲: 全体(本社、営業所、現場)

実施日	令和4年2月3日
実施者	八木 和章

項目	達成手段	評価	今後の取組
電力削減によるCO <sub>2</sub> 削減	①エアコン設定温度の徹底(室内温度、冷房28℃暖房20℃) ②不在の部屋はエアコンを停止する。 ③人がいないエリアの照明は点灯しない。 ④電気温水器は冬季のみ電源を投入する。 ⑤不在時は、パソコンの電源を切る。 ⑥ゴーヤによる緑のカーテンを作り、冷房時の外気負荷を低減	○ ○ ○ ○ ○ ○	温度計を活用した室内温度管理を図る。 継続して取組む。 昼休みの消灯を推進する。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。
化石燃料削減によるCO <sub>2</sub>	①不要なアイドリングはしない。 ②急発進、急停止はしない。 ③計画を立てて、効率の良い運転経路を選択する。 ④可能ならば相乗りで移動する。 ⑤不要な荷物は降ろして、車両をなるべく軽くする。 ⑥エアコン設定温度は適正にし、強風では使用しない。 ⑦タイヤの空気圧は適正に保つ。 ⑧遠出の際は、公共交通機関を積極的に利用する。	○ ○ ○ △ △ ○ ○ ○ ×	継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。 定期点検時に確認する。 片道60km以上の時は、公共交通機関を利用する。
水の削減	①水を出しっぱなしで使用しない。 ②物を洗う際は、バケツ溜洗いをする。 ③植栽の散水は、雨水再利用タンクの水を使用する。 ④定期的に漏水点検をする。	○ ○ ○ ○	止水栓を調整して、瞬間吐出量を少なくする。 継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。
廃棄物(一般)排出量の削減	①書類のペーパーレス化を推進する。 ②不要となったコピー用紙は裏面印刷にて使用する。 ③両面印刷を多用して、コピー用紙を削減する。 ④ダンボール、新聞紙、雑誌等紙類はリサイクルする。	○ ○ ○ ○	pdf化、スキャナーの活用に努める。 裏面使用可能なコピー用紙の分別を徹底させる。 継続して取組む。 継続して取組む。
廃棄物(産業)排出量の削減	①ダンボールはリサイクルする。 ②金属類の分別とリサイクルする。 ③マニフェストによる処分委託と管理をする。	○ ○ ○	継続して取組む。 継続して取組む。 継続して取組む。
環境設備配慮	①節水コマを常備し、積極的にお客様に提供する。 ②省エネシステムをお客様に積極的に提案する。 ③省エネに関するセミナーに積極的に参加する。	○ ○ △	継続して取組む。 エコキュート目標販売数を達成する 年1回は参加するように取組む。
グリーン購入	①備品等の新規購入はグリーン購入に努める。	×	グリーン購入対象物の周知を図る。



⑧環境関連法規への違反、訴訟の有無

チェック日：令和4年2月3日

当該環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘や近隣住民からの訴訟等は過去3年間ありません。

○×該当なし

環境関連法規の名称	規制内容	遵守状況	評価結果
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理を行う。 (汚泥、廃油、廃プラ、建設木くず、建設紙くず、建設繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、ゴムくず、コンクリート破片など)	令和4年2月3日	○
	委託先と契約書を交わし、5年間保存する。	令和4年2月3日	○
	マニフェストを交付し、5年間保存する。	令和4年2月3日	○
	毎年度、静岡県と浜松市に交付状況報告書を提出する。	令和4年2月3日	○
	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	令和4年2月3日	○
	マニフェストの期間内返却確認の結果、期間内に返却されなかった場合の県知事への報告	該当なし	該当なし
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選定	令和4年2月3日	○
	産業廃棄物処理委託先の現地確認及び記録の保管(5年間)	令和4年2月3日	○
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業。(石綿を含有する配管、ダクトの保温材の除去)	令和4年2月3日	○
	レベル1の場合は、作業開始前14日前までに労働基準監督署に工事計画書を提出する。	該当なし	該当なし
	レベル2の場合は、建築物解体等作業届けを作業前に届出する。	該当なし	該当なし
建設副産物適正処理推進要綱	建設発生土、建設副産物の適正処理。	令和4年2月3日	○
	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録を1年間保管する。	令和4年2月3日	○
大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置届を工事着工60日前に県知事に提出する。 (吸収式冷温水発生機、温風暖房機、ボイラーで伝熱面積10m <sup>2</sup> 以上又は、燃料消費量が重油換算50ℓ/h以上のもの)	該当なし	該当なし
騒音規制法	特定施設設置届を工事着手30日前に県知事に提出する。 (空気圧縮機及び送風機で原動機の定格出力が7.5kw以上のもの)	該当なし	該当なし
振動規制法	特定施設設置届を工事着手30日前に県知事に提出する。 (圧縮機で原動機の定格出力が7.5kw以上のもの)	該当なし	該当なし
フロン排出抑制法	冷媒用フロンの回収・破壊の措置をする。	令和4年2月3日	○
	行程管理票を発行し、「委託確認書」「引取証明書」を3年間保存する。	令和4年2月3日	○
	毎年度、静岡県に「第一種フロン類回収業者のフロン類回収量等に関する報告書」を提出する。	令和4年2月3日	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出。	該当なし	該当なし
	家電リサイクル券にて処理する。	該当なし	該当なし
建設リサイクル法	特定資材の解体分別と再資源化。	令和4年2月3日	○
容器包装リサイクル法	容器包装の分別収集とリサイクル推進。	令和4年2月3日	○
グリーン購入法	環境配慮型製品の購入。	令和4年2月3日	○

⑨環境活動の取組結果の評価

実施日 令和4年2月3日

実施者 八木 和章

対象事業所	項目	評価
全社 (本社・営業所)	購入電力	昨年に比べ本社常駐社員が増え全体の使用量は上がったが、基準年度比で27%削減。
	化石燃料 (ガソリン, 軽油)	昨年対比で≒5%基準年度比で≒3%減。エコドライブへの取り組みは継続して行う
	水使用量	会社常駐社員は増え使用水量も上がった。漏水はなかった。
	一般廃棄物排出量	官庁工事の件数増に伴いコピー用紙の使用も増える。裏紙の使用、ペーパーレス化の意識は継続して持つ
	産業廃棄物資源化率	目標値に対して≒50%増の資源化となったが、基準年度の数値が適正であったかを検証し次年度からの取り組みに際し新たな目標数値の設定を検討する
	グリーン購入・リサイクル	エコキュートの販売台数は昨年に比べ13台増。引き続き省エネ、CO2削減対象商品の提案を続ける。リサイクルは徹底できた。

# 全体評価と見直し結果

作成 令和4年2月3日

作成者 八木 和章

作成者 八木 和章				
1、 見直し 関連情報	項目	確認	コメント	
	1	エコアクション21文章	■	記録・文書として作成
	2	環境目標及び目標達成状況	■	全体として水・一般廃棄物が未達
	3	環境活動計画及び取り組み状況	■	継続して取り組む
	4	環境関連法規一覧及び遵守状況	■	記録を別途記載しました
	5	緊急事態の想定と対応策	■	記録を別途記載しました
	6	防災訓練実施要項及び反省	■	記録を別途記載しました
	7	その他	□	

2、 全体評価・ 見直し案	見直し項目	変更の 必要性		(有)の場合の支持事項	
	1	エコアクション21文章	有	無	
	2	環境目標及び目標達成状況	有	無	基準年度を変更し中長期目標の設定
	3	環境活動計画及び取り組み状況	有	無	
	4	環境関連法規一覧及び遵守状況	有	無	
	5	緊急事態の想定と対応策	有	無	
	6	防災訓練実施要項及び反省	有	無	
	7	その他	有	無	

## ⑩代表者による総評

コロナ禍で景気回復が見通せない中、常駐の大型物件がないために社員が会社にいる時間が増えた。その影響で電力、水の使用量が増えたが、ガソリン使用量は減り、全体としては前年度と比べて、CO2排出量が減った。

ガソリン価格は前年と比べて3割程度上昇し、ロシアを取り巻く国際情勢が不安点であるので、さらに高騰が予想され、電気料金への影響も懸念される。

ガソリン、電気の使用量と料金について、社員に周知してコロナ禍でさらに省エネ意識を高めるようにしていきたい。

令和 4年 2月 10日  
代表取締役 榛葉 秀聡